

## グローバル人材育成プログラムを終えて

藤本 朋希  
Tomoki FUJIMOTO  
機械システム工学科 3年

### 1. はじめに

2018年8月22日から9月10日にかけてアメリカにあるサンフランシスコ、バイエリアにて約3週間のプログラムに参加した。具体的なプログラムの日程を次の表に示す。

表 プログラムの日程

8/22	出国, サンフランシスコ観光
8/23	シリコンバレーツアー
8/24	グローバルキャリアセミナー
8/25	交流会
8/27～9/7	インターンシップ
9/9	帰国

今回のプログラムでは、日本とアメリカにおけるワークスタイルやライフスタイルの違いを学ぶことと、英会話スキルの向上を目指すことの二点を目的とした。

### 2. シリコンバレーツアー

シリコンバレーツアーでは、シリコンバレーにある Apple, Google, Intel などの有名な IT 企業の本社やコンピュータ博物館を訪問し、見学をさせてもらった。私が一番印象に残っていることは、SAP 本社にて聞いたデザインシンキングについてである。デザインシンキングとは革新的なアイデアを生み出すためのプロセスのことであり、共感、問題定義、創造、試作、テストの5つのプロセスから成る。私が一番大切であると思ったのは、問題定義である。世の中には解決されていない問題が多くあるが、その問題の状況や発生の要因を細かく分析して目指す

べき方向を確率しないと、まちがった問題定義をしていては、いつまでも正しい答えが導かれなとおっしゃっていたからである。あたりまえのことだけれどとても大切だと思った。

### 3. グローバルキャリアセミナー

このセミナーでは、現地で働いておられる日本人の方2名の講演を聞いて、そのあと軽食を食べながら意見交換会を行った。私が一番印象に残っているのは、一人の方が「言葉ができなくてもあきらめない」とおっしゃっていたことである。その方の体験談を聞いて大切だと思ったからであるが、それに加え、実際私も海外インターンを経験して、言葉に詰まることが多々あったが、わかる単語とジェスチャーでなんとかか会話をできて仕事もこなすことができたので、改めてその言葉が大切だと思い印象に残っている。

### 4. インターンシップ

#### 4.1 企業の概要

私は The way auto care という Santa Clara にある自動車整備の会社で研修を行った。主に車のオイル交換、タイヤ交換などの自動車整備、洗車、定期点検、板金塗装を行っている会社である。

#### 4.2 研修内容

私が研修でした仕事は主に、車の車内清掃、車外洗浄、オイル交換、タイヤ交換、清掃作業、整備士のアシスタント作業である。これらの仕事は普段勉強している専門科目の知識を使う場面はなかったが、従業員の方とたくさん英語で会話する機会があり、自身の英会話スキルを向上させる面では良い経験になった。

#### 4.3 研修を通して学んだこと

実際に他国の方達と一緒に仕事をして学んだことは、英語が流暢に話せなくても、必要最低限の単語を理解でき、ジェスチャーなどによって自分の意思

をしっかりと伝えることができれば、海外でも仕事ができることである。もちろん英語が流暢に話せたほうが、できる仕事の範囲は広がるだろう。しかし、研修先ではネイティブアメリカンが少なく、メキシコ人や韓国人の方が数名働いていて、各国それぞれの独特の癖のある英語が飛び交っていたにもかかわらず、スムーズに仕事が成り立っていた。これは、整備士はみんなする仕事がほとんど同じであるので、工具や部品、機械の名称、動作の英単語など必要最低限の英単語さえ理解できれば、「Wash! The car!」、「Put! Bolt!」のような会話とジェスチャーだけでほとんどの仕事がこなせるからであると考えられる。私も実際仕事を一緒にしてみても、英語を聞き取れないことの方が多かったけれど、単語やジェスチャーでわからなかったことを聞き返したり、単語やジェスチャーで指示を受けたりして、英単語とジェスチャーのやりとりで仕事をこなすことができた。

また、渡航する前のイメージは、アメリカの方達は適当に仕事をしてのんびりと遊んで過ごしているイメージがあったが、実際に一緒に働いてみると、ネイティブアメリカンや他の国から来ている人達はみんな仕事のオンとオフの切り替えをしっかりと行うことができ、効率よく仕事をする人達であることも学んだ。オフのときはしっかりと休憩して、その中で好きな動画を見たり、少しドライブしたりして自分の好きなことをする時間を設けていた。ワークスケジュールがないにもかかわらず、だらだらと仕事をする事なく、オンとオフを切り替えられるワークスタイルは、日本と違い勉強になった。また、渡航前の私はこのアメリカに住む人たちのオフの部分

しか見ていなかったことに気づくことができた。

## 5. ホームステイでの生活

私はサンノゼに住む父・母・息子の3人家族の家にお世話になった。約2週間ホームステイをしてみても、シャワーの時間が短いことや、カリフォルニア州では水が高いため水の節約には敏感であることなど、普段の生活では意識したことのないことに気を付けなければならなかった。最初は大変だった。しかし、2,3日過ごせばそれらのルールには慣れて、ホストファミリーの方たちも優しくて良くしてもらえたので、とても楽しく過ごすことができた。特に、休日はホストマザーやその息子さんが車を出してくれて遠いところだとサンフランシスコやオークランドまで車で1時間以上かかるにもかかわらず、連れていってもらった。行くところごとに、ここではどういったものがおすすめであるとか、こういう楽しみ方があるよとか、様々なことを教えてもらえたので、とても楽しいホームステイ生活が送れた。

## 6. おわりに

私は今回の研修やホームステイ生活で日本とのワークスタイル、ライフスタイルの違いを学ぶことができ、海外で働くことに少し興味をもった。また、渡航前よりも英会話は上達したが、改めて英会話の必要性も感じたので、引き続き英会話の勉強を続けていきたいと考える。アメリカで生活したことは非常に良い経験になったので、この経験で得たことを就活やこれからの人生に活かしていければいいと考える。